

# 「東日本大震災」 災害支援活動速報

第4報 (2011- 3-23 )

〒162-0051 東京都新宿区西早稲田 2 - 2 - 8 「全国財団」ビル4F TEL.03-3202-5661 FAX.03-3202-7235

## 1. 会員、支部の安否情報と医療機関情報

20日以降、本日までには協会に寄せられた支部からの情報と、協会の行動です。対策本部では、各県支部と密に連絡を取り最新の情報入手を行い、被災地へも適切な情報配信を積極的に行っています。

### 1). 宮城県支部

萩原代表および松崎事務局長から連絡がありました、全 58 人の会員(医師 9 人を除く)への連絡を行った。15 人の確認が取れない(内 7 人は電話の呼び出し音が鳴っていた)が、その他は無事を確認。引き続き安否確認を行うが、女川に住んでいる 2 人の会員さんが特に心配である。また、無事が確認できた会員さんからも、薬とガソリンが不足することへの不安の声が多く聞かれました。

他県支部でも安否確認が進められていますので、最新報が入り次第順次ご報告いたします。

### 2). 被災地域全会員の安否確認

東北 6 県および茨城県の全会員(387 人)宛に送付した往復葉書は、現在まで 97 通の返信がありました。その中で、薬のことなどで不安を訴えてきた会員さん数名に対し、直接電話での対応を行いました。

### 3). 被災地域でてんかん医療を行っている医療機関情報

被災地などで、てんかん医療を提供できている医療機関情報を、協会ホームページで更新・公開中です

## 2. 支援活動状況

他団体とも協力をしながら、次のことに取り組んでいます。

### 1). 抗てんかん薬が被災地で配布され始めています

19 日朝、「仙台医療センター」に輸送された抗てんかん薬は、県内医療スタッフなどの働きで、必要な医療機関や避難所などに配布され始めました。福島や岩手からも大学病院関係者等が、受領に来ているようです。しかし、まだまだ現場での薬不足は深刻で、NHKの取材でベテルの曾我先生も訴えていました。

### 2). 自治体およびマスコミへの働きかけ

毎日新聞「サポート情報」に[てんかん診療]の項目が掲載され始めました。NHKの医療情報(総合テレビのL字型文字放送)、夜の「福祉ネットワーク」でも取り扱われる予定です。地元河北新報やNHK、民放でも情報提供の予定です。一方、自治体については、市町村の「災害対策本部」宛に個別情報発信の準備を進めています。なお、協会ホームページは、専用サイトに移行し順次更新中です。

### 3). 静岡てんかん・神経医療センターに「てんかん支援ホットライン」が開設

患者・家族と医療関係者に向けて、災害支援のための「てんかん支援ホットライン」が 22 日に開設されました。24 時間対応とのことですので、相談窓口の一つとしてご周知ください。

電話 : 054-245-5446(代) 「支援ホットライン」とお伝えください。FAX. : 054-247-9781

メール : [sien@szec.hosp.go.jp](mailto:sien@szec.hosp.go.jp) ホームページ : <http://www.shizuokamind.org/>

### 4). 支援募金の口座を追加しました

これまで、みずほ銀行およびゆうちょ銀行の口座を紹介してきました。しかし、みずほ銀行のシステムトラブルもあり、新たに三菱東京UFJ銀行に専用口座を開設しました。合わせてご周知をお願いします。

**三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店(053) 普通 No.0308566 「社団法人日本てんかん協会」**